



## 平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年1月29日

上場取引所 東

上場会社名 江崎グリコ株式会社

コード番号 2206 URL <https://www.glico.com/jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江崎勝久

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 松本節範

TEL 06-6477-8404

四半期報告書提出予定日 平成28年2月1日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	261,478	7.1	16,861	33.5	19,131	23.2	13,803	△27.2
27年3月期第3四半期	244,195	△0.8	12,634	2.9	15,533	12.2	18,950	95.7

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 11,607百万円 (△48.1%) 27年3月期第3四半期 22,356百万円 (50.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
28年3月期第3四半期	210.48	—
27年3月期第3四半期	289.06	—

(注) 平成26年10月1日付で普通株式2株を1株の割合で併合したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
28年3月期第3四半期	285,594	183,253	62.3	2,713.49
27年3月期	275,302	174,838	61.5	2,582.19

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 177,970百万円 27年3月期 169,312百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
27年3月期	—	5.00	—	30.00	—
28年3月期	—	20.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成26年10月1日付で普通株式2株を1株の割合で併合しております。平成27年3月期第2四半期末については当該株式併合前の実際の配当金の額を記載しております。株式併合後の基準で換算した平成27年3月期の年間配当額は40円となります。

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	337,500	5.7	16,500	15.8	19,000	7.9	13,300	△36.9	202.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期3Q	69,430,069 株	27年3月期	69,430,069 株
28年3月期3Q	3,842,985 株	27年3月期	3,860,644 株
28年3月期3Q	65,578,625 株	27年3月期3Q	65,559,644 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注)平成26年10月1日を効力発生日として普通株式2株につき1株の割合で併合したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期中平均株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は完了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成27年4月1日～平成27年12月31日）におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境が改善傾向にある中、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方で、中国の景気減速が現実のものとなり、世界各国での株式・為替相場に影響が出つつあり、懸念される景気の下振れがより鮮明となってまいりました。

このような状況の中で、当社グループは、主力品を軸とした売上拡大や新製品・系列品の発売、量販店やCVSでの販売対策等を積極的に展開いたしました。

その結果、売上面では、食品部門は前年同期を下回ったものの、菓子部門、冷菓部門、牛乳・乳製品部門、食品原料部門、その他部門が前年同期を上回ったため、当四半期連結売上高は261,478百万円となり、前年同期（244,195百万円）に比べ、7.1%の増収となりました。

利益面につきましては、売上原価率は、増収による固定費率のダウン、販売品種構成の変化によるダウン、価格改定による売上原価率の改善等により、全体ではダウンしました。販売費及び一般管理費は、売上の伸長に伴う製品在庫の増加や販売品種構成の変化により運送費及び保管費率がアップしました。また、量販店店頭での販売対策の実施等により販売促進費等も増加しました。その結果、営業利益は16,861百万円で前年同期（12,634百万円）に比べ4,227百万円の増益となり、経常利益は19,131百万円で前年同期（15,533百万円）に比べ3,598百万円の増益となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は13,803百万円となり、固定資産売却益を計上した前年同期（18,950百万円）に比べ、5,147百万円の減益となりました。

各セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

#### ・セグメント別の概況

(単位：百万円、%)

セグメント	売上高			営業利益		
	当第3四半期 連結累計期間	対前年同期 増減額	対前年 同期比 (%)	当第3四半期 連結累計期間	対前年同期 増減額	対前年 同期比 (%)
菓子	89,447	7,621	109.3	7,203	1,198	120.0
冷菓	66,703	5,074	108.2	5,807	1,910	149.0
食品	15,383	△1,254	92.5	98	△393	20.0
牛乳・乳製品	75,830	3,342	104.6	3,331	1,445	176.6
食品原料	8,095	676	109.1	433	158	157.6
その他	6,019	1,823	143.5	△58	△213	—
調整	—	—	—	46	121	—
合計	261,478	17,283	107.1	16,861	4,227	133.5

#### <菓子部門>

売上面では、国内は“ビスコ”「ポッキーグループ」“神戸ローストショコラ”等が前年同期を上回りました。また、海外では、中国の子会社が前年同期を大きく上回りました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は89,447百万円となり、前年同期(81,825百万円)に比べ9.3%の増収となりました。

利益面では、中国及び国内での増収や全体的な売上原価率の改善によって、海外子会社での販売促進費の増加を吸収したこと等により、営業利益は7,203百万円となり、前年同期（6,004百万円）に比べ、1,198百万円の増益となりました。

#### <冷菓部門>

売上面では、主力の“パピコ”“アイスの実”“ジャイアントコーン”等が前年同期を上回りました。また、卸売販売子会社売上も前年同期を上回りました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は66,703百万円となり、前年同期(61,629百万円)に比べ8.2%の増収となりました。

利益面では、運送費及び保管費率がアップしたものの、販売品種構成の変化や価格改定による売上原価率の改善等により、営業利益は5,807百万円となり、前年同期（3,897百万円）に比べ1,910百万円の増益となりました。

<食品部門>

売上面では、“クレアシチュー”が前年同期を上回りましたが、“熱カレー”“カレー職人”等は前年同期を下回りました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は15,383百万円となり、前年同期(16,637百万円)に比べ7.5%の減収となりました。

利益面では、リピートの効率運用に努めたものの、品種構成の変化による売上原価率のアップや広告宣伝費の増加等により、営業利益は98百万円となり、前年同期(492百万円)に比べ、393百万円の減益となりました。

<牛乳・乳製品部門>

売上面では、“朝食BifiXヨーグルト”“プッチンプリン”等が前年同期を上回り、キリンビバレッジ(株)の“トロピカーナエッセンシャルズ”が増収となりました。また、“粉ミルク”がインバウンド需要を取り込んで、売上を大きく伸ばしました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は75,830百万円となり、前年同期(72,488百万円)に比べ4.6%の増収となりました。

利益面では、販売促進費は増加したものの、増収による売上原価率のダウンと広告宣伝費の減少等により、営業利益は3,331百万円となり、前年同期(1,885百万円)に比べ、1,445百万円の増益となりました。

<食品原料部門>

売上面では、“ファインケミカル”“A-グル”等が前年同期を上回りました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は8,095百万円となり、前年同期(7,418百万円)に比べ9.1%の増収となりました。

利益面では、運送費及び保管費の増加はあったものの、価格改定による売上原価率の改善や一般経費の減少等により、営業利益は433百万円となり、前年同期(274百万円)に比べ、158百万円の増益となりました。

<その他部門>

売上面では、オフィスグリコ部門及び健康部門(旧スポーツフーズ部門)がいずれも前年同期を上回りました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は6,019百万円となり、前年同期(4,196百万円)に比べ43.5%の増収となりました。

利益面では、販売品種構成の変化による売上原価率のアップや健康部門の新製品投入に係る販売促進費の増加等により、営業利益は△58百万円となり、前年同期(155百万円)に比べ213百万円の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は285,594百万円となり、前連結会計年度末に比べ10,291百万円増加しました。流動資産は139,910百万円となり、7,587百万円増加しました。主な要因は、現金及び預金の増加によるものです。固定資産は145,684百万円となり、2,704百万円増加しました。主な要因は、有形固定資産の増加によるものです。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は102,340百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,876百万円増加しました。その主な要因は、未払費用の増加、その他の流動負債の増加となります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は183,253百万円となり、前連結会計年度末に比べ8,415百万円増加しました。主な要因は、利益剰余金の増加となります。この結果、自己資本比率は62.3%(前連結会計年度末比0.8%増)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、平成27年10月30日の「平成28年3月期第2四半期(累計)連結業績予想との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想を下記の通り修正いたしました。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 343,300	百万円 15,500	百万円 18,000	百万円 13,000	円 銭 198.24
今回修正予想(B)	337,500	16,500	19,000	13,300	202.81
増減額(B-A)	△5,800	1,000	1,000	300	—
増減率(%)	△1.7	6.5	5.6	2.3	—
(ご参考)前期実績(平成27年3月期)	319,393	14,247	17,610	21,068	321.35

(注)平成26年10月1日付で普通株式2株を1株の割合で併合したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益金額を算定しております。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
(会計方針の変更)  
(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項（4）、連結会計基準第44-5項（4）及び事業分離等会計基準第57-4項（4）に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額ははありません。

### 3. 四半期連結財務諸表

#### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	37,110	46,983
受取手形及び売掛金	33,078	37,595
有価証券	29,248	22,947
商品及び製品	11,060	11,258
仕掛品	859	836
原材料及び貯蔵品	13,144	14,787
その他	7,897	5,566
貸倒引当金	△78	△66
流動資産合計	132,322	139,910
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	22,374	22,793
機械装置及び運搬具（純額）	28,271	28,117
土地	13,933	15,701
建設仮勘定	3,771	8,131
その他（純額）	4,355	4,183
有形固定資産合計	72,707	78,926
無形固定資産		
その他	3,203	3,623
無形固定資産合計	3,203	3,623
投資その他の資産		
投資有価証券	47,534	42,977
投資不動産（純額）	12,402	12,400
その他	7,188	7,813
貸倒引当金	△57	△57
投資その他の資産合計	67,068	63,133
固定資産合計	142,979	145,684
資産合計	275,302	285,594

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	29,564	32,482
短期借入金	7,621	4,356
1年内返済予定の長期借入金	4,000	4,493
未払費用	22,121	25,244
未払法人税等	5,401	1,616
販売促進引当金	1,509	1,520
事業構造改善引当金	-	81
役員賞与引当金	44	-
その他	8,468	11,852
流動負債合計	78,729	81,646
固定負債		
長期借入金	1,343	493
退職給付に係る負債	10,281	10,345
事業構造改善引当金	105	-
その他	10,004	9,855
固定負債合計	21,734	20,694
負債合計	100,464	102,340
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,773	7,773
資本剰余金	7,484	7,784
利益剰余金	144,566	155,090
自己株式	△6,626	△6,822
株主資本合計	153,198	163,825
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,875	11,227
為替換算調整勘定	4,281	2,805
退職給付に係る調整累計額	△42	111
その他の包括利益累計額合計	16,114	14,144
非支配株主持分	5,526	5,283
純資産合計	174,838	183,253
負債純資産合計	275,302	285,594

## (2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	244,195	261,478
売上原価	136,092	141,788
売上総利益	108,103	119,690
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	21,437	23,460
販売促進費	35,509	38,854
販売促進引当金繰入額	57	11
広告宣伝費	8,605	9,373
退職給付費用	731	671
その他	29,128	30,458
販売費及び一般管理費合計	95,468	102,828
営業利益	12,634	16,861
営業外収益		
受取利息	295	282
受取配当金	640	1,754
為替差益	1,407	—
その他	1,214	1,389
営業外収益合計	3,556	3,426
営業外費用		
支払利息	157	126
為替差損	—	332
その他	500	698
営業外費用合計	657	1,156
経常利益	15,533	19,131
特別利益		
投資有価証券売却益	1,052	1,414
投資有価証券償還益	156	402
固定資産売却益	11,948	—
その他	96	—
特別利益合計	13,253	1,816
特別損失		
減損損失	15	18
ゴルフ会員権評価損	4	—
その他	0	—
特別損失合計	20	18
税金等調整前四半期純利益	28,766	20,930
法人税、住民税及び事業税	7,220	5,590
法人税等調整額	2,090	1,207
法人税等合計	9,311	6,797
四半期純利益	19,455	14,132
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	18,950	13,803
非支配株主に帰属する四半期純利益	504	329

(単位：百万円)

	前第3 四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3 四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,297	△648
為替換算調整勘定	444	△1,647
退職給付に係る調整額	139	154
持分法適用会社に対する持分相当額	19	△384
その他の包括利益合計	2,900	△2,525
四半期包括利益	22,356	11,607
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	21,736	11,833
非支配株主に係る四半期包括利益	619	△226

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益及び包括利 益計算書計上 額(注) 3
	菓子	冷菓	食品	牛乳・ 乳製品	食品 原料	計				
売上高										
外部顧客への売上高	81,825	61,629	16,637	72,488	7,418	239,999	4,196	244,195	—	244,195
セグメント間の内部売 上高又は振替高	421	—	—	191	101	714	2,399	3,113	△3,113	—
計	82,247	61,629	16,637	72,679	7,519	240,713	6,596	247,309	△3,113	244,195
セグメント利益	6,004	3,897	492	1,885	274	12,554	155	12,709	△75	12,634

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、スポーツフーズ部門、オフィスグリコ部門、システム保守開発事業部門及び倉庫事業部門を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△75百万円には、セグメント間取引消去・その他調整額960百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,035百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成27年4月1日 至平成27年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益及び包括利 益計算書計上 額(注) 3
	菓子	冷菓	食品	牛乳・ 乳製品	食品 原料	計				
売上高										
外部顧客への売上高	89,447	66,703	15,383	75,830	8,095	255,459	6,019	261,478	—	261,478
セグメント間の内部売 上高又は振替高	511	—	—	457	122	1,091	3,087	4,179	△4,179	—
計	89,959	66,703	15,383	76,287	8,217	256,551	9,106	265,658	△4,179	261,478
セグメント利益又は損失 (△)	7,203	5,807	98	3,331	433	16,873	△58	16,815	46	16,861

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、健康部門（旧スポーツフーズ部門）、オフィスグリコ部門、システム保守開発事業部門を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額46百万円には、セグメント間取引消去・その他調整額849百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△802百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
重要性が乏しいため記載を省略しております。